

## 2023年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 ASJ 上場取引所 東  
 コード番号 2351 URL <https://www.asj.ad.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 邦哲  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 茂喜 TEL 048-259-5111  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,753	10.5	78	—	82	—	62	—	62	—	74	—
2022年3月期	2,491	△0.6	△484	—	△481	—	△484	—	△484	—	△472	—

	基本的1株当たり 当期利益		希薄化後 1株当たり当期利益		親会社所有者帰属持分 当期利益率		資産合計 税引前利益率		売上収益 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%	%	%	%	円	銭
2023年3月期	7.90		7.90		2.5		2.1		2.9	
2022年3月期	△61.13		△61.13		△18.0		△11.5		△19.5	

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率		1株当たり親会社 所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	%	%	円	銭	
2023年3月期	4,064		2,544		2,544	62.6		320.00		
2022年3月期	3,963		2,486		2,486	62.7		312.67		

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
2023年3月期	453		△291		△73		928	
2022年3月期	249		△284		26		838	

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	15	—	0.6
2023年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	15	25.3	0.6
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00		24.6	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,800	1.7	80	1.9	65	3.5	8.17	

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - (社名) -, 除外 - 社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年3月期	7,951,100株	2022年3月期	7,951,100株
2023年3月期	18株	2022年3月期	18株
2023年3月期	7,951,082株	2022年3月期	7,927,324株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	778	0.5	4	-	28	-	24	-
2022年3月期	774	△0.2	△20	-	1	△95.2	△208	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	3.13	3.13
2022年3月期	△26.25	-

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年3月期	3,608	2,782	2,782	2,782	76.9	348.88	348.88	
2022年3月期	3,560	2,773	2,773	2,773	77.7	347.76	347.76	

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,774百万円 2022年3月期 2,765百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 2
(4) 今後の見通し	P. 2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 2
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 連結財政状態計算書	P. 3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 5
(3) 連結持分変動計算書	P. 7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(1株当たり情報)	P. 10
(重要な後発事象)	P. 10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、民需中心に緩やかな持ち直しの傾向が見られる反面、ロシア・ウクライナ情勢による不安定な国際情勢に端を発する世界的なインフレの懸念が広がること等により世界経済及び日本経済共に不安定な状況が継続しております。

そのような状況の中、当社グループでは、グループ各社とのシナジー効果創生に向けて積極的に取り組むこと等の構造改革を行うとともに、2024年4月1日に予定されている「医師の働き方改革」施行に向けた大規模医療機関におけるHRテック推進支援及びECサービスが好調に推移いたしました。その結果、通期連結売上収益が2,753,790千円(前期比10.5%増)となりました。

また、利益面につきましても売上収益の増加に伴い、営業利益78,535千円、親会社の所有者に帰属する当期利益は62,828千円と黒字転換という結果となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当社グループの当連結会計年度末における資産は、親会社の所有者に帰属する当期利益を計上し、現金及び現金同等物が89,831千円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ100,779千円増加し、4,064,364千円となりました。また、負債につきましては、決済代行サービスの拡大に伴う未払金の増加等により、前連結会計年度末と比べ42,538千円増加し、1,520,023千円となりました。

資本につきましては、親会社の所有者に帰属する当期利益を計上したこと等により、前連結会計年度末と比べ58,241千円増加し、2,544,341千円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、453,181千円の増加(前年同期は249,708千円の増加)となりました。主たる要因といたしましては、税金等調整前当期純利益を計上するとともに、現金の支出を伴わない費用である減価償却費等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、291,336千円の支出(前年同期は284,168千円の支出)となりました。主たる要因といたしましては、有形固定資産及び無形資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、73,500千円の支出(前年同期は26,205千円の増加)となりました。主たる要因といたしましては、借入金の返済による支出及び配当金の支払いによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ89,831千円増加し、928,706千円となりました。

### (4) 今後の見通し

当社グループでは、「お客様の課題を発見し、解決へと導き、さらなる発展と働きやすい環境づくりを支援する。」ことをVisionに掲げ、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進支援及び新規技術の研究開発活動を強化してまいります。

また、当期も引き続き、「医師の働き方改革」に向けた大規模医療機関におけるHRテック推進支援について強化するとともに、人材の育成及び営業体制の強化を推進する方針です。さらに、2024年度中に竣工予定の「姫路ラボ&サーバセンター(仮称)」等、将来の業容の拡大に向けて、積極的に投資を行ってまいります。

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上収益及び利益が第4四半期に集中する見込みとなっております。これらのことを考慮し、売上収益2,800百万円(前期比1.7%増)、営業利益80百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益65百万円となる見込みであります。

なお、本業績予想を反映した「事業計画及び成長可能性に関する事項の開示」につきましては、2023年6月中に開示させて頂く予定であります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務情報の国際比較可能性の向上による、国内外の投資家を含む様々なステークホルダーの皆様への利便性の向上を目的として、2018年3月期からIFRS(国際財務報告基準)を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	838,875	928,706
営業債権及びその他の債権	667,568	682,698
棚卸資産	74,544	68,133
その他の流動資産	36,592	42,847
流動資産合計	1,617,580	1,722,385
非流動資産		
有形固定資産	1,554,370	1,520,872
のれん	13,134	13,134
無形資産	576,331	590,773
その他の金融資産	192,822	206,702
繰延税金資産	8,758	9,217
その他の非流動資産	586	1,278
非流動資産合計	2,346,003	2,341,978
資産合計	3,963,584	4,064,364

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	181,008	163,008
営業債務及びその他の債務	495,285	600,832
その他の金融負債	26,585	26,623
前受金	210,649	191,240
未払法人所得税等	27,665	29,679
引当金	38,759	39,736
その他の流動負債	101,618	105,734
流動負債合計	1,081,570	1,156,854
非流動負債		
借入金	76,467	63,459
その他の金融負債	70,018	43,401
退職給付に係る負債	143,899	153,689
引当金	25,876	25,310
繰延税金負債	74,358	72,145
その他の非流動負債	5,295	5,163
非流動負債合計	395,915	363,169
負債合計	1,477,485	1,520,023
資本		
資本金	1,375,538	1,375,538
資本剰余金	1,294,841	1,294,841
自己株式	△8	△8
その他の資本の構成要素	93,263	104,579
利益剰余金	△277,536	△230,609
資本合計	2,486,099	2,544,341
負債及び資本合計	3,963,584	4,064,364

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)
	千円	千円
売上収益	2,491,280	2,753,790
売上原価	△1,604,790	△1,722,100
売上総利益	886,490	1,031,690
販売費及び一般管理費	△871,967	△957,751
その他の収益	8,284	6,556
その他の費用	△507,553	△1,960
営業利益又は営業損失(△)	△484,746	78,535
金融収益	5,147	6,183
金融費用	△1,654	△1,813
税引前利益又は税引前損失(△)	△481,252	82,904
法人所得税費用	△3,350	△20,075
当期利益又は当期損失(△)	△484,603	62,828
当期利益の帰属		
親会社の所有者	△484,603	62,828
非支配持分	—	—
当期利益又は当期損失(△)	△484,603	62,828
1株当たり当期利益又は当期損失(△)		
基本的1株当たり当期利益又は当期損失(△)(円)	△61.13	7.90
希薄化後1株当たり当期利益又は当期損失(△)(円)	△61.13	7.90

## (連結包括利益計算書)

	前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)
	千円	千円
当期利益又は当期損失(△)	△484,603	62,828
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	10,676	9,647
純損益に振り替えられることのない項目合計	10,676	9,647
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,627	1,668
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,627	1,668
税引後その他の包括利益	12,303	11,315
当期包括利益	△472,300	74,143
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△472,300	74,143
非支配持分	—	—
当期包括利益	△472,300	74,143



## (3) 連結持分変動計算書

## 親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
千円	千円	千円	千円	千円	
2021年4月1日時点の残高	1,373,833	1,245,856	△31,747	81,494	△534
当期損失	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	10,676	1,627
当期包括利益合計	—	—	—	10,676	1,627
新株の発行	1,705	1,604	—	—	—
自己株式の処分	—	47,380	31,739	—	—
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	1,705	48,984	31,739	—	—
2022年3月31日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	92,171	1,092
当期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	9,647	1,668
当期包括利益合計	—	—	—	9,647	1,668
新株の発行	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—
2023年3月31日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	101,818	2,760

## 親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分			合計
	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	
	合計	千円	千円	
2021年4月1日時点の残高	80,960	222,819	2,891,722	2,891,722
当期損失	—	△484,603	△484,603	△484,603
その他の包括利益	12,303	—	12,303	12,303
当期包括利益合計	12,303	△484,603	△472,300	△472,300
新株の発行	—	—	3,309	3,309
自己株式の処分	—	—	79,119	79,119
配当金	—	△15,752	△15,752	△15,752
所有者との取引額合計	—	△15,752	66,676	66,676
2022年3月31日時点の残高	93,263	△277,536	2,486,099	2,486,099
当期利益	—	62,828	62,828	62,828
その他の包括利益	11,315	—	11,315	11,315
当期包括利益合計	11,315	62,828	74,143	74,143
新株の発行	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当金	—	△15,902	△15,902	△15,902
所有者との取引額合計	—	△15,902	△15,902	△15,902
2023年3月31日時点の残高	104,579	△230,609	2,544,341	2,544,341

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益又は税引前損失(△)	△481,252	82,904
減価償却費及び償却費	319,978	283,656
減損損失	503,765	—
金融収益	△5,147	△6,183
金融費用	1,654	1,813
固定資産除却損	530	0
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,016	8,140
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△72,595	△19,100
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,085	114,342
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,692	7,137
引当金の増減額(△は減少)	2,801	809
その他	△311	△41
小計	263,012	473,478
利息及び配当金の受取額	5,147	6,183
利息の支払額	△2,082	△1,745
法人所得税の支払額	△16,369	△24,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,708	453,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,977	△23,634
無形資産の取得による支出	△286,681	△267,702
有形固定資産の売却による収入	8,085	—
敷金及び保証金の回収による収入	21,404	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,168	△291,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△18,000
長期借入金の返済による支出	△13,008	△13,008
リース負債の返済による支出	△26,718	△26,578
新株予約権の行使による新株発行による収入	3,269	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	78,417	—
配当金の支払額	△15,755	△15,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,205	△73,500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,254	88,344
現金及び現金同等物の期首残高	845,307	838,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,821	1,486
現金及び現金同等物の期末残高	838,875	928,706

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループは、ネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客に対する売上収益は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)
	千円	千円
サービス	1,084,026	1,067,989
受託開発	549,567	617,423
商品販売	857,686	1,068,377
合計	2,491,280	2,753,790

## (3) 地域別に関する情報

## ① 外部顧客への売上収益

本邦の外部顧客への売上収益が連結損益計算書の売上収益の大部分を占めるため、記載を省略しております。

## ② 非流動資産

本邦に所在している非流動資産の金額が連結財政状態計算書の非流動資産の金額の大部分を占めるため、記載を省略しております。

## (4) 主要な顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、連結損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)	当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益又は当期損失 (△) (千円)	△484,603	62,828
親会社の普通株式に帰属しない当期利益又は当期損失 (△) (千円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益又は 当期損失 (△) (千円)	△484,603	62,828
当期利益調整金額 (千円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 又は当期損失 (千円)	△484,603	62,828
発行済普通株式の加重平均株式数 (株)	7,927,324	7,951,082
普通株式増加数		
新株予約権 (株)	44,897	—
希薄化後の加重平均普通株式数 (株)	7,972,221	7,951,082
基本的1株当たり当期利益又は当期損失 (円)	△61.13	7.90
希薄化後1株当たり当期利益又は当期損失 (円)	△61.13	7.90

(注) 1. 前連結会計年度においては、新株予約権の行使が1株当たり当期損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有しておりません。

2. 当連結会計年度においては、新株予約権は存在するものの、希薄化効果を有しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。